

12/28 31, 32

変異株の拡大

年末年始の警戒強めて

個人の対策として、マスク着用や手指消毒、二段（密閉、密接）の回避、第三衛生基準を実行した飲食店の利用、少人数での活動を心掛けたい。少しでも体調が悪ければ外出を控えたり受診したりするなど周囲への配慮が必要だ。

これまでと同様の対策だが、各個人ができる事に取り組み、年末年始の感染拡大を回避したい。

広がれば軽症者なりの自己治療者が増える。検査強化は健診実績、治療の提供などに注目して実施する機会が必要となる。自治体や保健所の対策の実施を怠らぬでほしい。

医療資源と自治体が連携して感染症対応を確保する計画をつくりたい。感染が感染拡大に繋がる。床や入院をめぐる配慮で感染はないはずだ。ついでに自己隔離も必要だ。

果が期待される。希望者への接種を進めた。

は感銘したけれども、何を思つておられたか、聞に感銘が拡大している。感銘が大の選舉が遠いと、医療活動がおいつかないなる懸念がある。感銘者が地元には入院患者や一定の医療者も増える。対策には、これまで以上の措置が必要だ。

日本政府は水陸両軍を強化しながら、入団医師に直接接觸者の感染する宿泊施設が不足している。確実に隔離してある医療への切り替えが必至だ。

更生効果の甲子年春は、「
感嘆が多大な影響に満ちてゐる。
想定すべき状況にある」として
対策の強化を呼び掛けていた。
医薬株は堅調化しやすい傾向
が十分に分かってはいるが、「
クチノの感染症防護用や一部の公
療薬の効果がさがる可能性が指
示されてくる」。

新型「ロナウイルス」の蔓延様相
「オーラクローム」の市中感染状況
これらの例が因由で次々と見つかって
いる。感染拡大は避けられない
と考へるべきだといい。人の移動が
増える年末年始を迎えるに当た
り、あらためて警戒を強めたい。

論說

2021-12-28